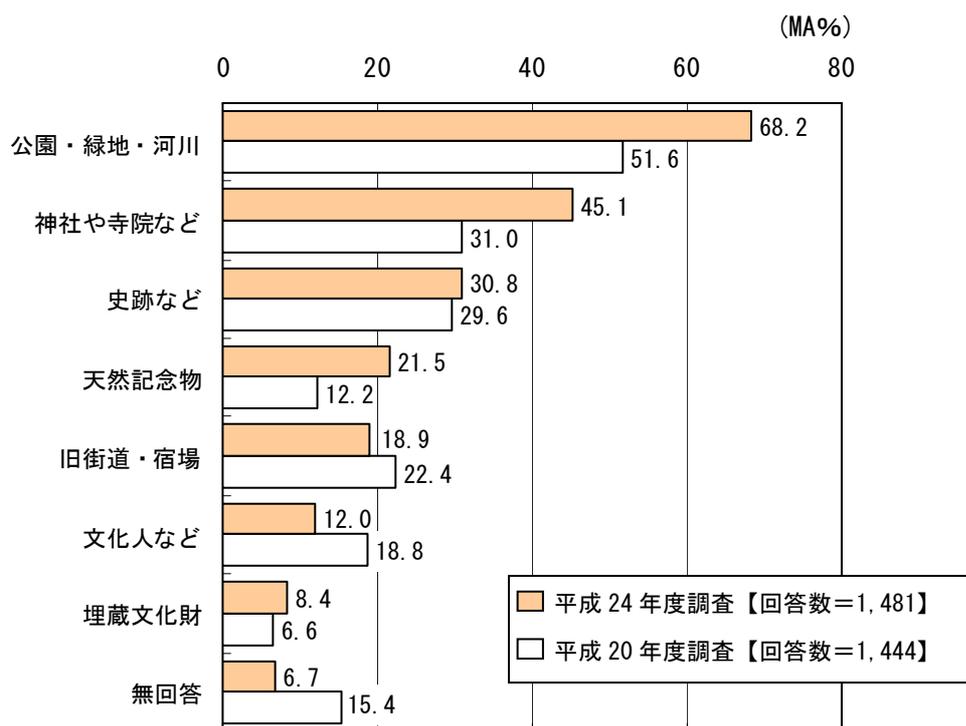


3. 文化芸術の意識や関わり、要望について

問 15. あなたは本市の文化的資源や文化活動について、どのようなものに興味がありますか？それぞれの項目について、お答え下さい。

(1) 文化的資源について (〇は3つまで)

図 3-1 興味のある本市の文化的資源 (複数回答)

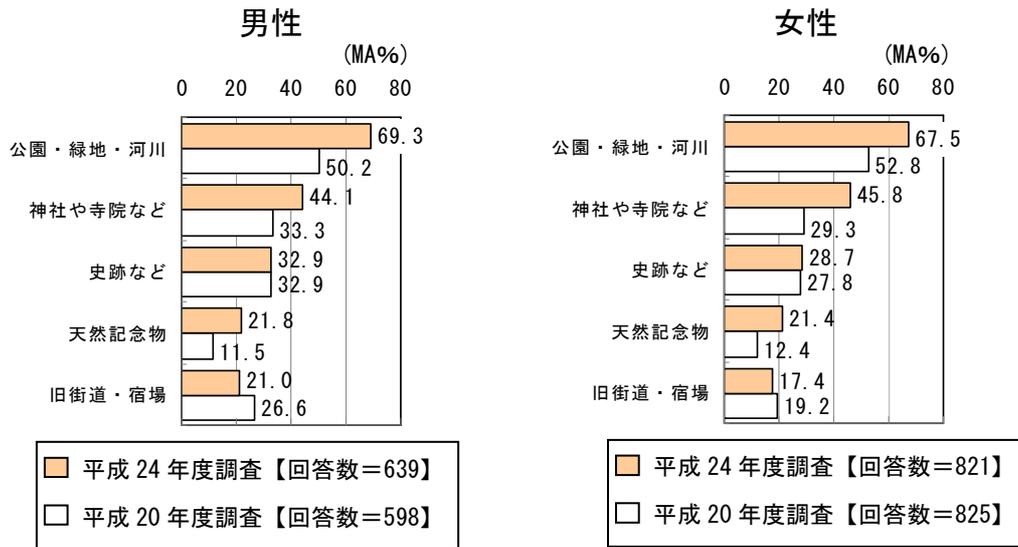


興味のある本市の文化的資源をたずねた。「公園・緑地・河川」が 68.2%と最も高く、次いで、「神社や寺院など」(45.1%)、「史跡など」(30.8%)、「天然記念物」(21.5%)などの順となっている。

平成 20 年度調査と比較すると、本年度調査で増えているのが「公園・緑地・河川」(16.6 ポイント増)、「神社や寺院など」(14.1 ポイント増)、「天然記念物」(9.3 ポイント増)、「史跡など」(1.2 ポイント増)、「埋蔵文化財」(1.8 ポイント増)となっている。

一方、本年度調査で低くなっているのが、「文化人など」(6.8 ポイント減)、「旧街道・宿場」(3.5 ポイント減)などとなっている。(図 3-1)

図 3-2 性別 興味のある本市の文化的資源【上位 5 項目】（複数回答）

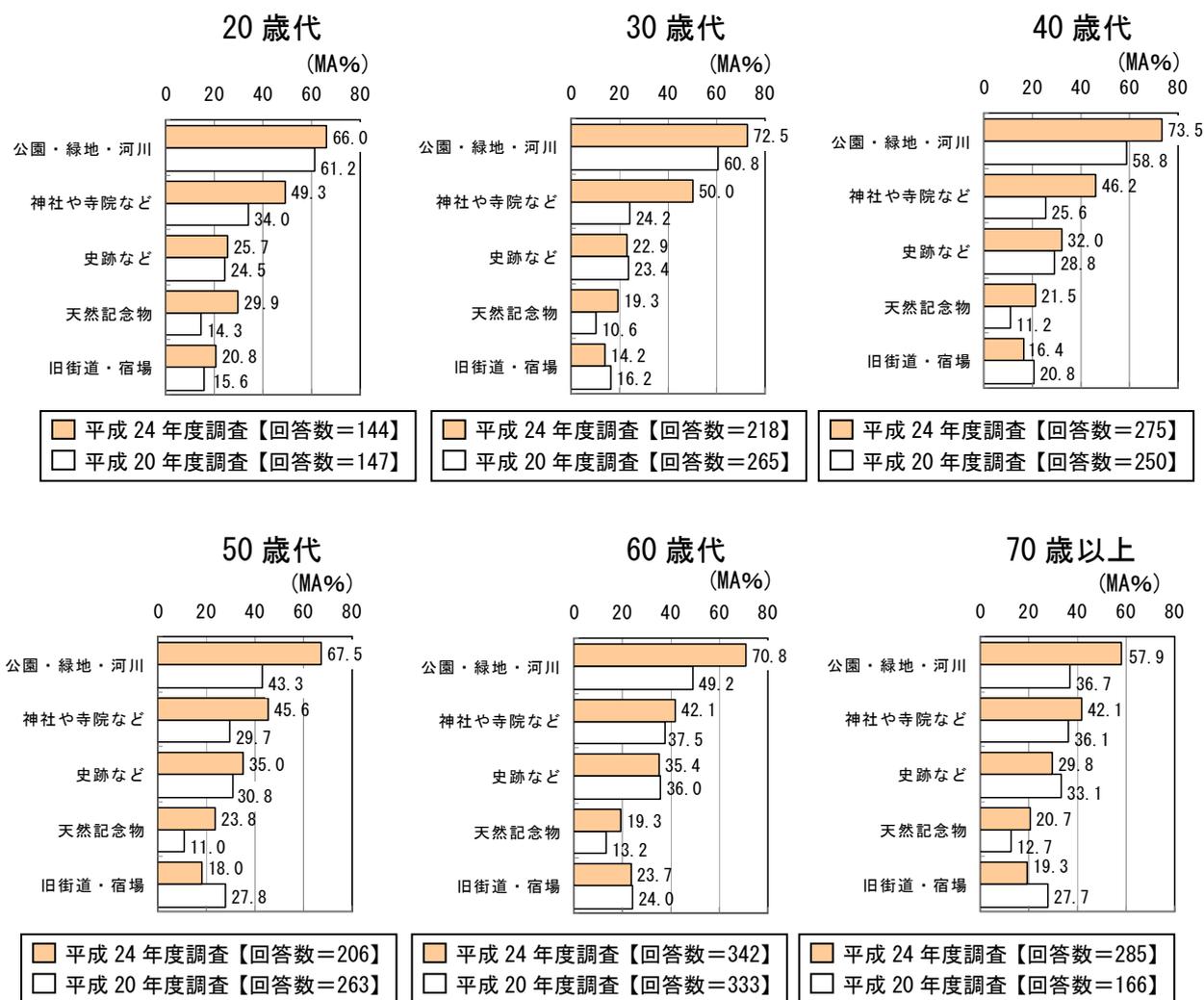


性別に上位 5 項目をみると、男女ともほぼ全体と同様の傾向となっている。

平成 20 年度調査と比較すると大きく変化があるのは、『男性』で「公園・緑地・河川」（19.1 ポイント増）、「神社や寺院など」（10.8 ポイント増）、「天然記念物」（10.3 ポイント増）となっている。『女性』で「公園・緑地・河川」（14.7 ポイント増）、「神社や寺院など」（16.5 ポイント増）となっている。

結果的に男女とも、「旧街道・宿場」を除いて本年度調査の方が高くなっている。（図 3-2）

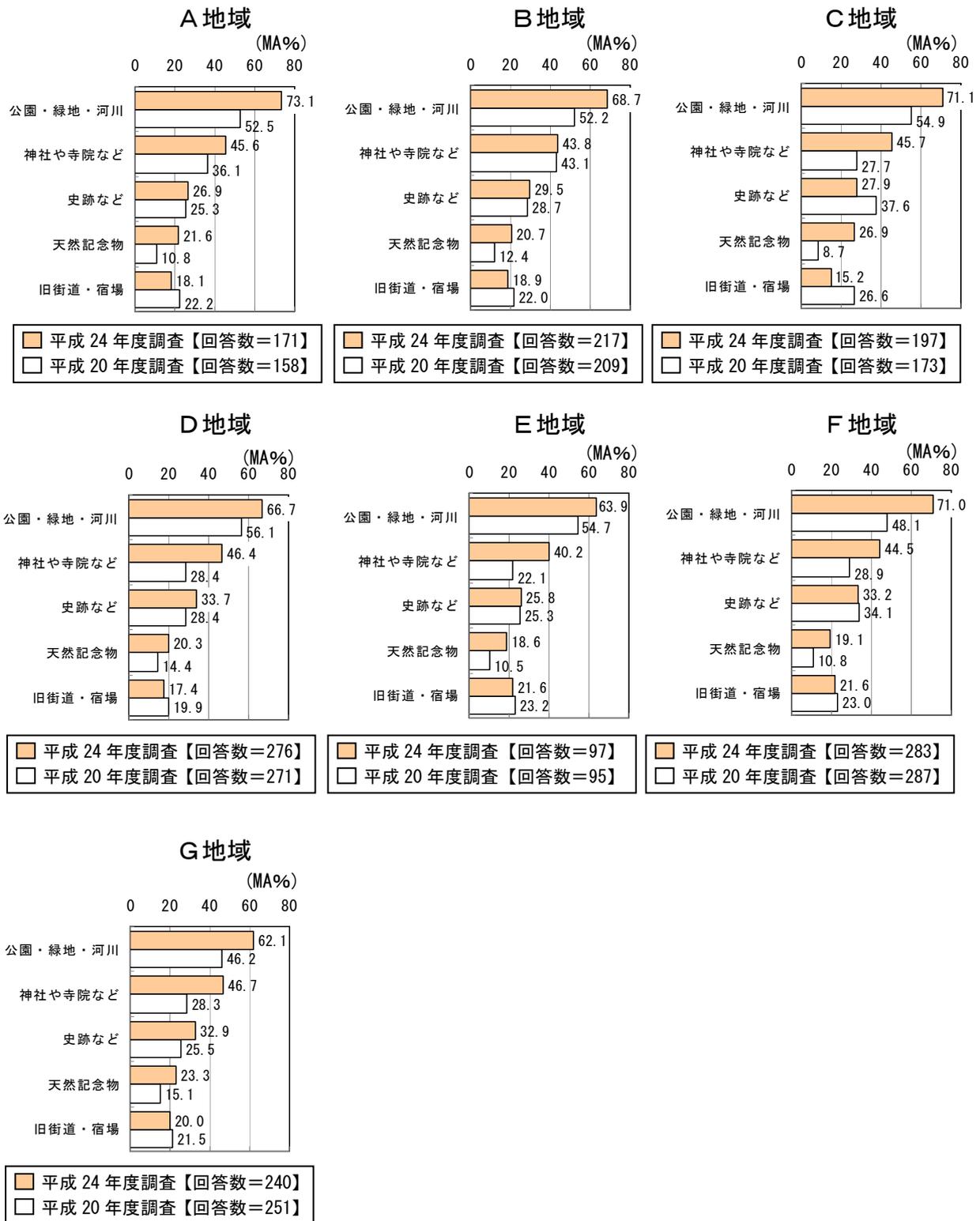
図 3-3 年代別 興味のある本市の文化的資源【上位 5 項目】(複数回答)



年代別に上位 5 項目をみると、各年代とも全体と同様の傾向を示している。

平成 20 年度調査と比較すると、いずれの年代、いずれの項目も概して本年度調査の方が高くなっているが、『20 歳代』を除いて「旧街道・宿場」については平成 20 年度調査の方が高くなっている。(図 3-3)

図 3-4 地域別 興味のある本市の文化的資源【上位 5 項目】（複数回答）

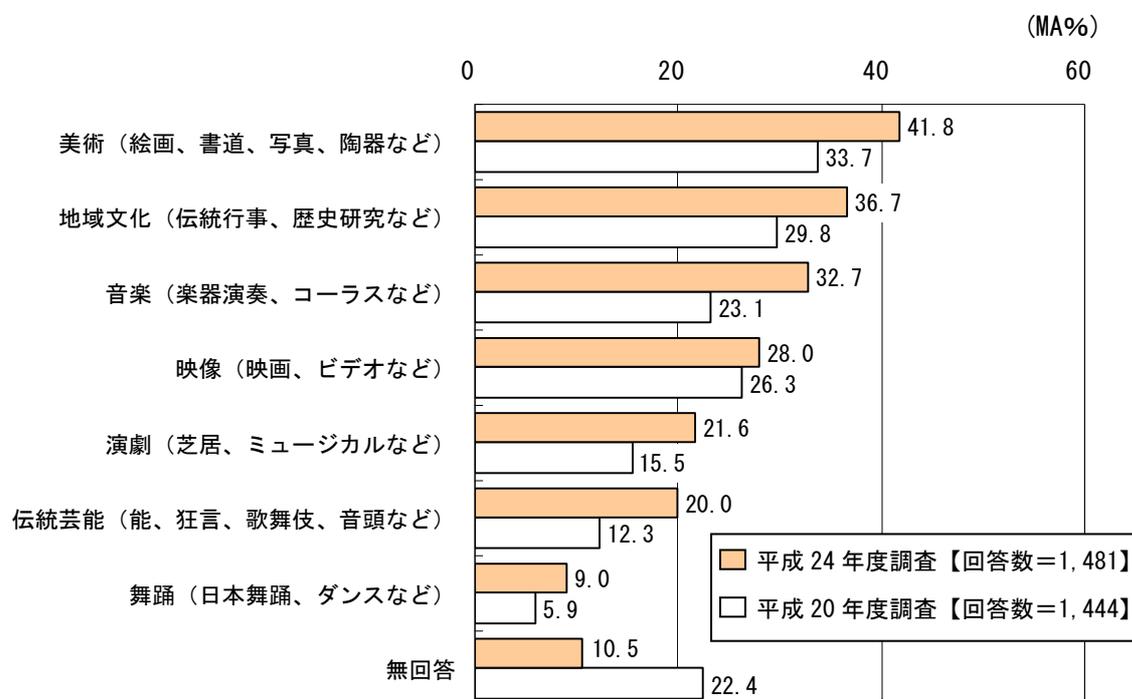


地域別に上位 5 項目をみると、『E 地域』『F 地域』の「旧街道・宿場」が「天然記念物」に比べやや高くなっているが、その他の地域で全体と同様の傾向となっている。

平成 20 年度調査と比較すると、「旧街道・宿場」「史跡など」を除いて、いずれの地域、いずれの項目も概して本年度調査の方が高くなっている。(図 3-4)

(2) 文化的活動について (〇は3つまで)

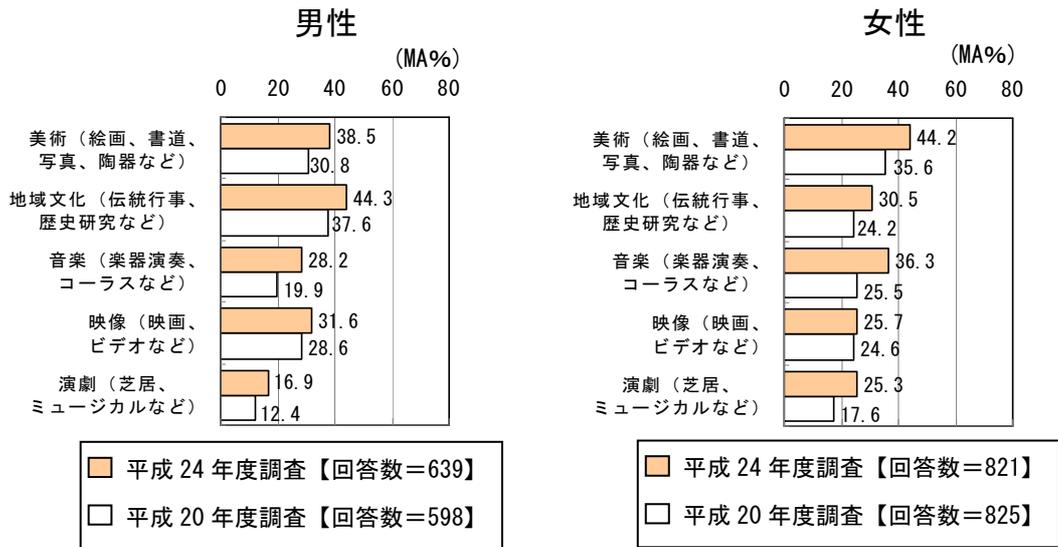
図 3-5 興味のある本市の文化的活動 (複数回答)



興味のある本市の文化的活動をたずねた。「美術 (絵画、書道、写真、陶器など)」が 41.8%と最も高く、次いで「地域文化 (伝統行事、歴史研究など)」(36.7%)、「音楽 (楽器演奏、コーラスなど)」(32.7%)、「映像 (映画、ビデオなど)」(28.0%) などの順となっている。

平成 20 年度調査と比較すると、すべての項目で本年度調査の方が増えており、増加の幅が大きいのは「音楽 (楽器演奏、コーラスなど)」(9.6 ポイント増)、「美術 (絵画、書道、写真、陶器など)」(8.1 ポイント増)、「伝統芸能 (能、狂言、歌舞伎、音頭など)」(7.7 ポイント増) となっている。(図 3-5)

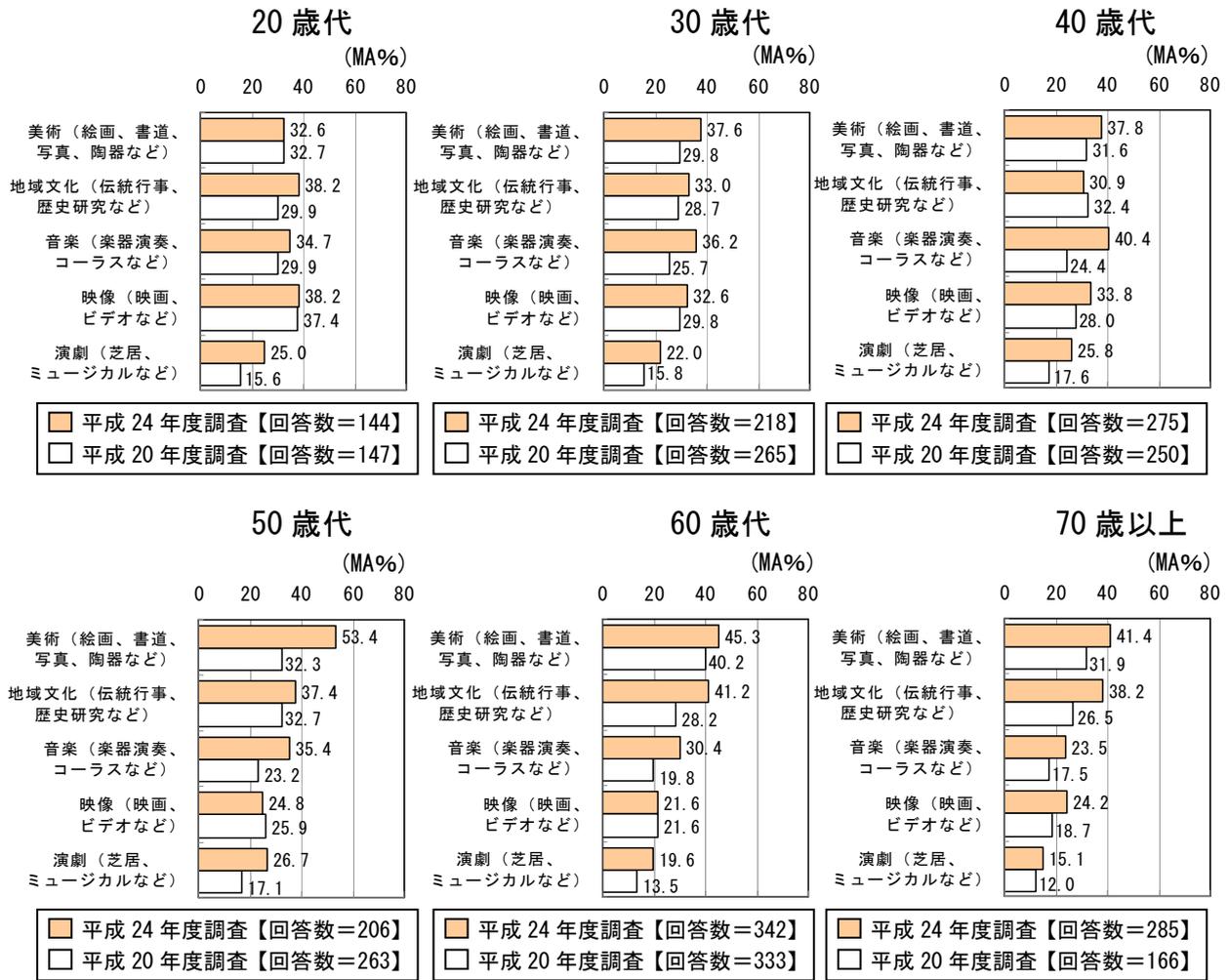
図 3-6 性別 興味のある本市の文化的活動【上位 5 項目】（複数回答）



性別に上位 5 項目をみると、全体と比較して『男性』で「地域文化（伝統行事、歴史研究など）」が 44.3%と最も高くなっている。『女性』で 2 位に「音楽（楽器演奏、コーラスなど）」が 36.3%となっている。

平成 20 年度調査と比較すると、男女ともどの項目も本年度調査の方が高くなっている。また、『男性』で平成 20 年度調査は 1 位が「地域文化（伝統行事、歴史研究など）」が 37.6%となっており、『女性』で 1 位が本年度調査と同様「美術（絵画、書道、写真、陶器など）」が 35.6%となっている。（図 3-6）

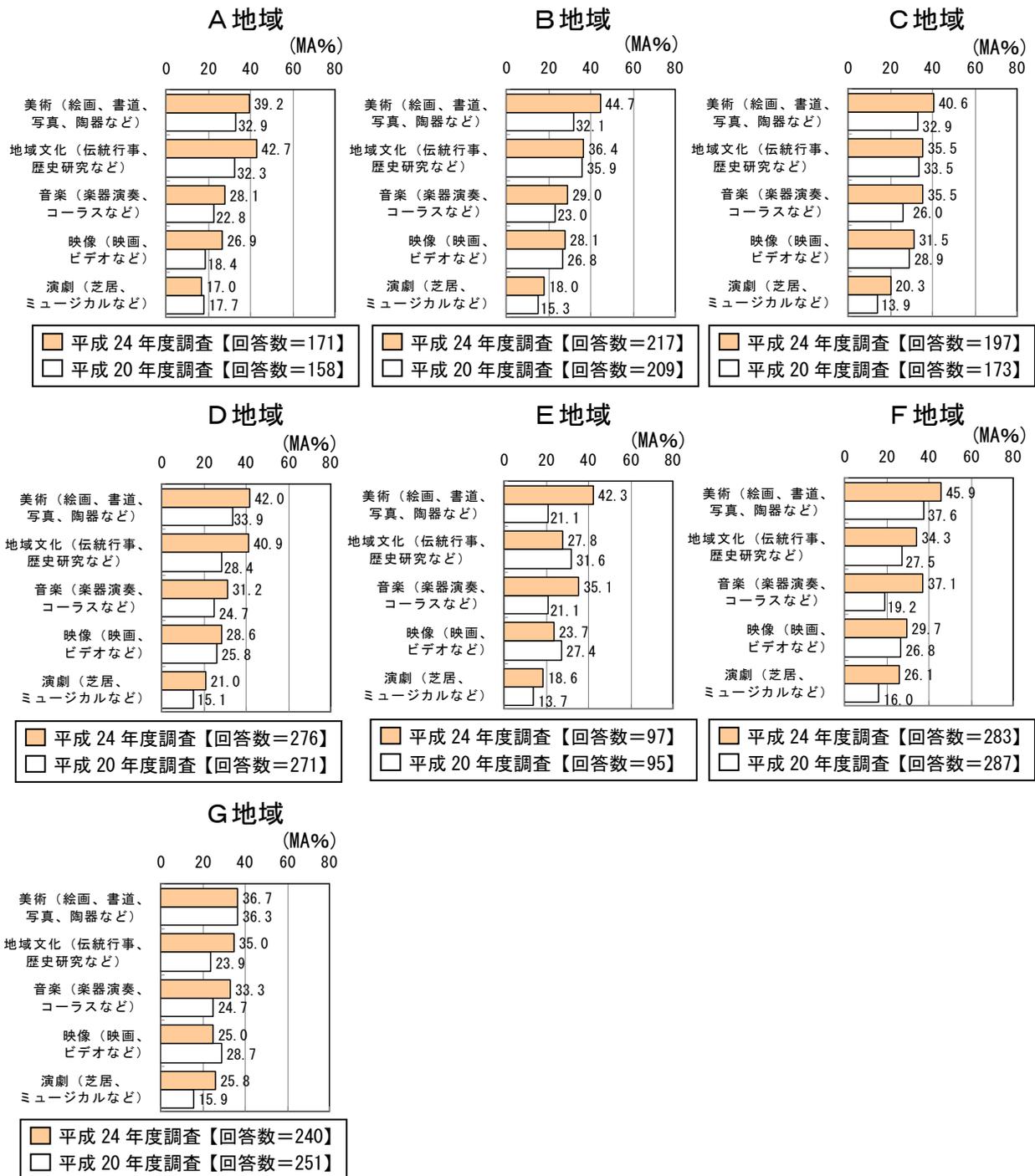
図 3-7 年代別 興味のある本市の文化的活動【上位 5 項目】（複数回答）



年代別に上位 5 項目をみると、『20 歳代』で「地域文化（伝統行事、歴史研究など）」「映像（映画、ビデオなど）」が 38.2% と同率で最も高く、『40 歳代』で「音楽（楽器演奏、コーラスなど）」が 40.4% と最も高くなっている。

平成 20 年度調査と比較すると、すべての年代にわたってほぼすべての項目について本年度調査の方が高くなっている。（図 3-7）

図 3-8 地域別 興味のある本市の文化的活動【上位 5 項目】(複数回答)

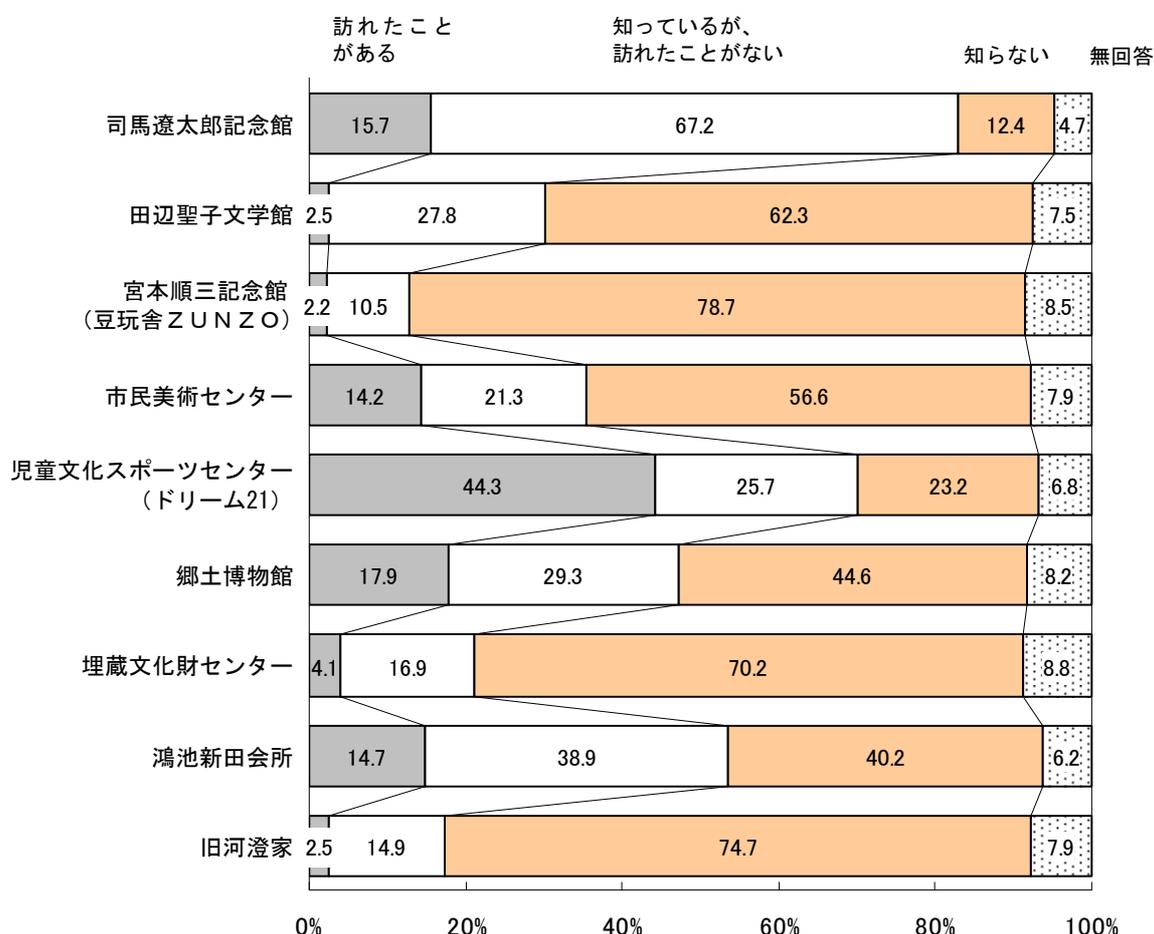


地域別にみると、『A地域』で「地域文化 (伝統行事、歴史研究など)」が 42.7%と最も高くなっているが、その他の地域で全体と同様「美術 (絵画、書道、写真、陶器など)」が最も高くなっている。

平成 20 年度調査と比較すると、『A地域』の「演劇 (芝居、ミュージカルなど)」が 17.0%、『E地域』の「地域文化 (伝統行事、歴史研究など)」が 27.8%、及び「映像 (映画、ビデオなど)」が 23.7%、『G地域』の「映像 (映画、ビデオなど)」が 25.0%を除いて、すべての地域、すべての項目について、本年度調査の方が高くなっている。(図 3-8)

問 16. あなたは、市内にある以下のような文化施設を知っていますか？
 (各項目ごとに〇は1つだけ)

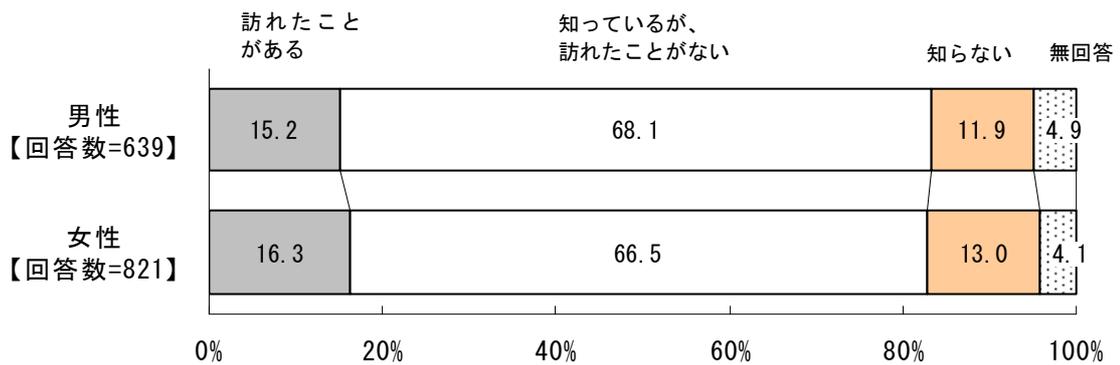
図 3-9 市内の文化施設の認知度・利用状況



【回答数=1,481】

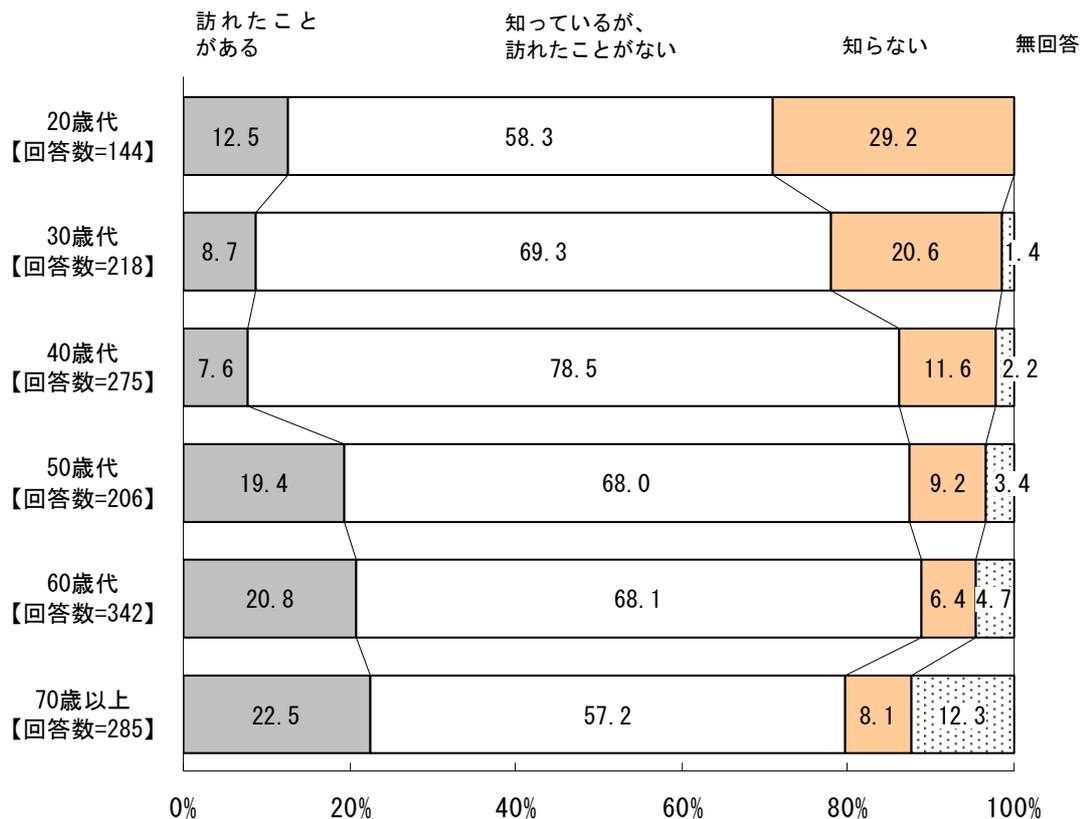
市内の文化施設の認知度・利用状況をたずねた。「訪れたことがある」が最も高い施設は『児童文化スポーツセンター（ドリーム21）』で44.3%、「知っているが、訪れたことがない」が最も高い施設は、『司馬遼太郎記念館』で67.2%、「知らない」が70%以上の施設は、『宮本順三記念館（豆玩舎ZUNZO）』で78.7%、『埋蔵文化財センター』で70.2%、『旧河澄家』で74.7%などとなっている。(図3-9)

図 3-10 性別 司馬遼太郎記念館の認知度・利用状況



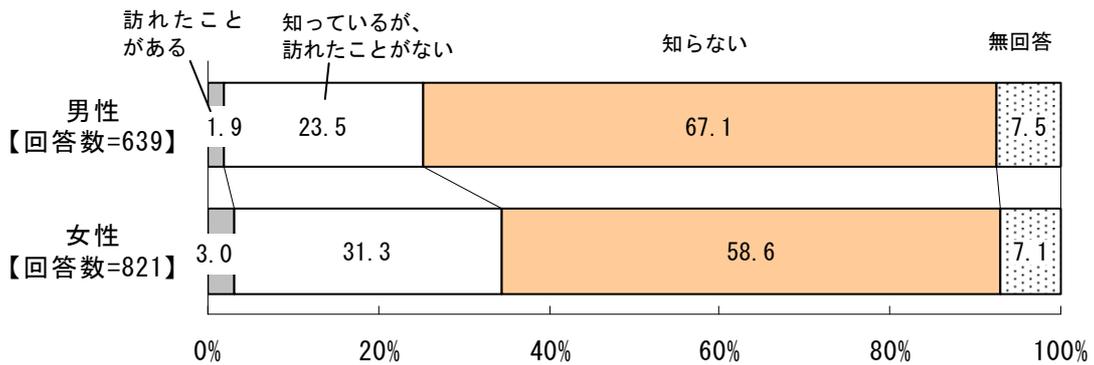
性別にみると、『女性』で「訪れたことがある」が 16.3%となっており、『男性』に比べ 1.1 ポイント高くなっている。(図 3-10)

図 3-11 年代別 司馬遼太郎記念館の認知度・利用状況



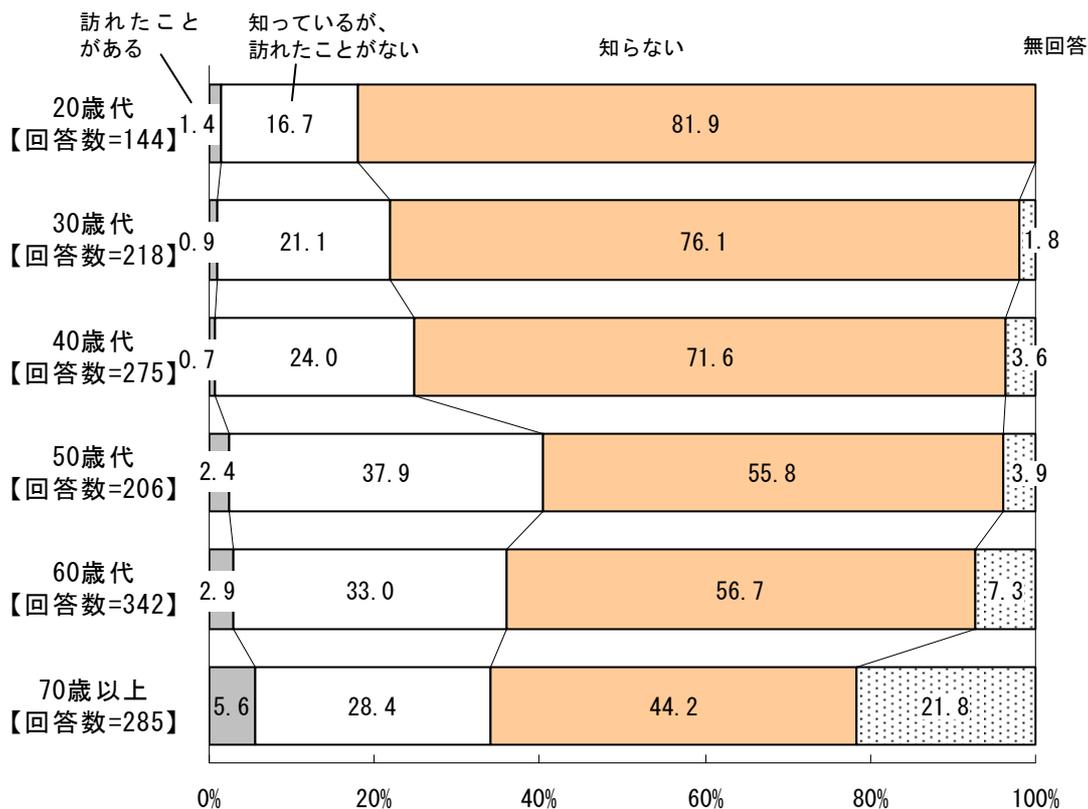
年代別にみると、『20歳代』から『40歳代』で「訪れたことがある」が1割前後となっている一方、『50歳代』から『70歳以上』で2割前後となっている。(図 3-11)

図 3-12 性別 田辺聖子文学館の認知度・利用状況



性別にみると、『女性』で「知っているが、訪れたことがない」が31.3%となっており、『男性』に比べ7.8ポイント高くなっている。一方、『男性』で「知らない」が67.1%となっており、『女性』に比べ8.5ポイント高くなっている。(図 3-12)

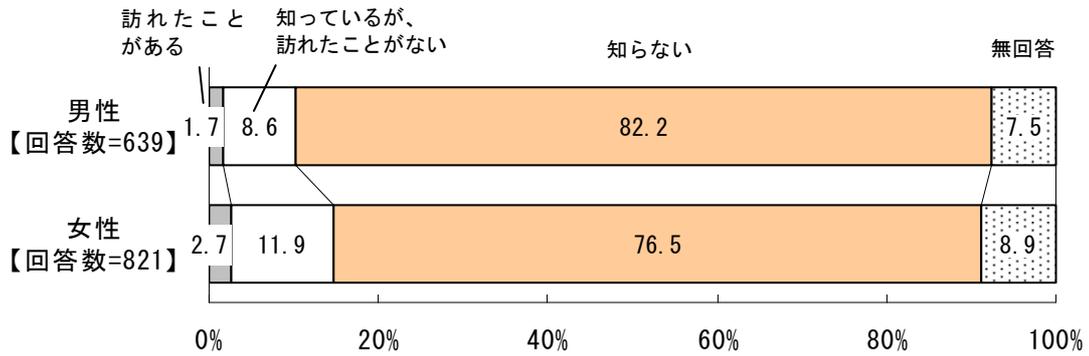
図 3-13 年代別 田辺聖子文学館の認知度・利用状況



年代別にみると、『20歳代』から『50歳代』と年代が上がるにつれ「知っているが、訪れたことがない」が高くなっているが、『50歳代』の37.9%をピークに『60歳代』以上は低くなっている。

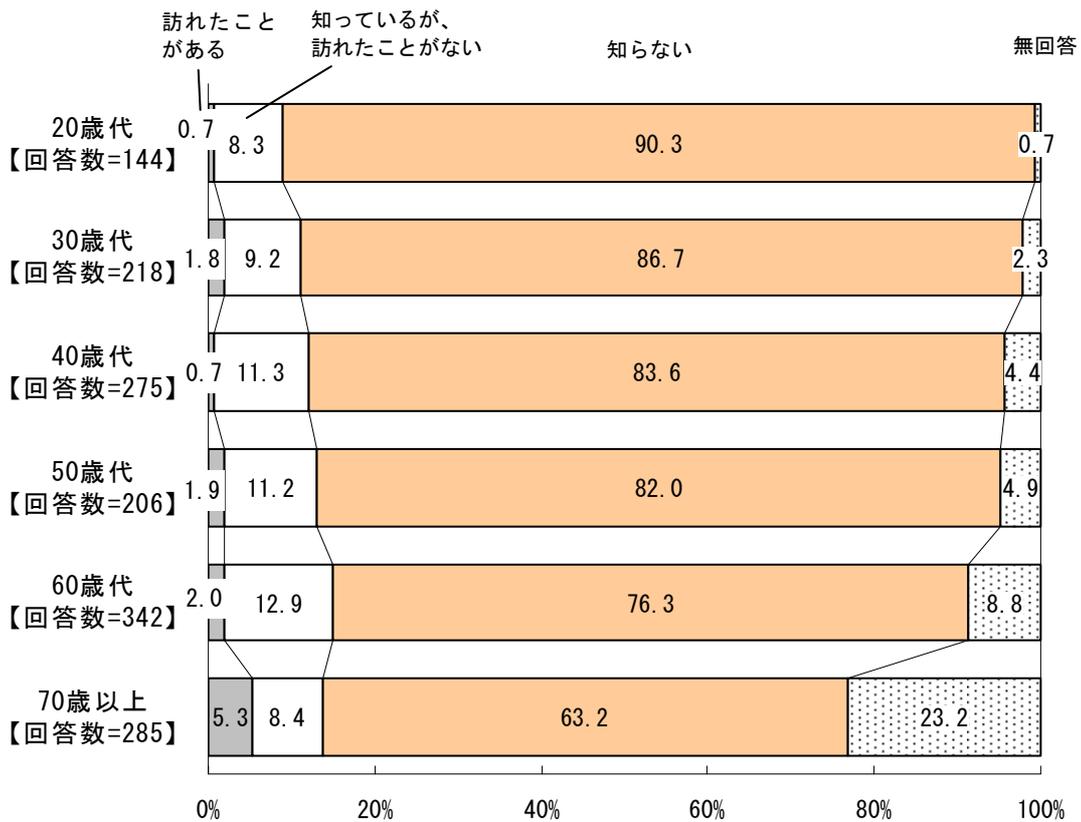
一方、年代が上がるにつれ「知らない」が概して減少傾向にある。(図 3-13)

図 3-14 性別 宮本順三記念館（豆玩舎ZUNZO）の認知度・利用状況



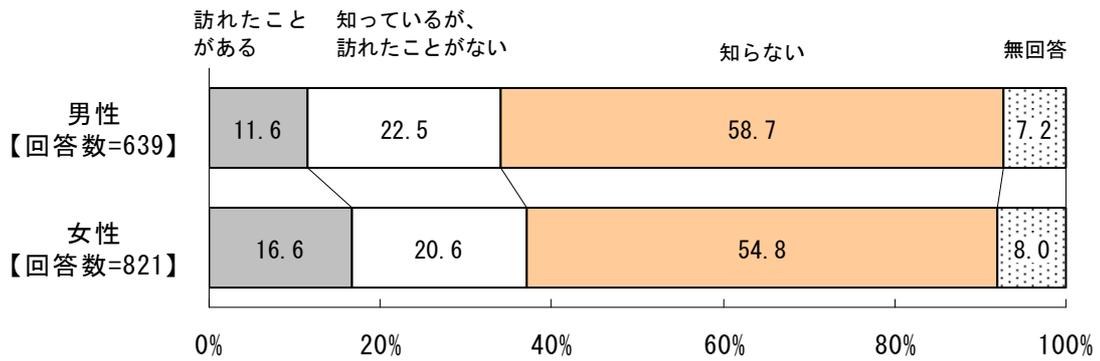
性別にみると、『女性』で「知っているが、訪れたことがない」が11.9%となっており、『男性』に比べ3.3ポイント高くなっている。一方、『男性』で「知らない」が82.2%となっており、『女性』に比べ5.7ポイント高くなっている。(図 3-14)

図 3-15 年代別 宮本順三記念館（豆玩舎ZUNZO）の認知度・利用状況



年代別にみると、『70歳以上』で「訪れたことがある」が5.3%と最も高くなっている。一方、『20歳代』で「知らない」が90.3%と9割を超えている。(図 3-15)

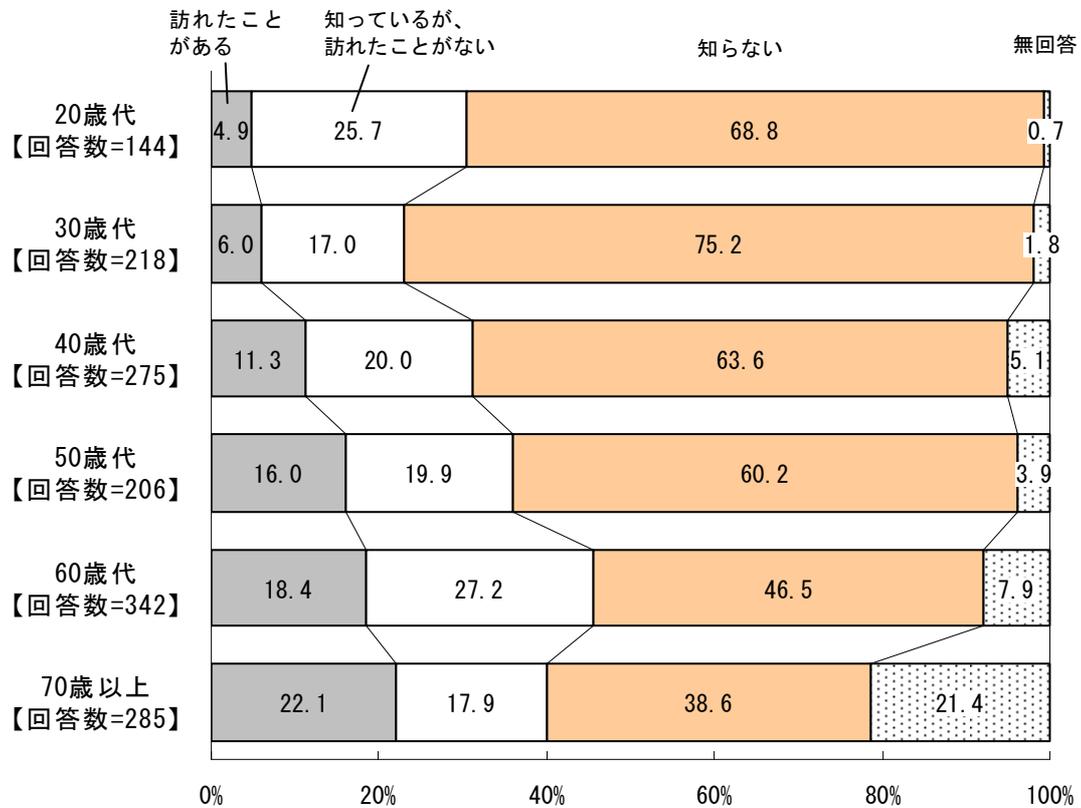
図 3-16 性別 市民美術センターの認知度・利用状況



性別にみると、『女性』で「訪れたことがある」が 16.6%となっており、『男性』に比べ 5.0 ポイント高くなっている。

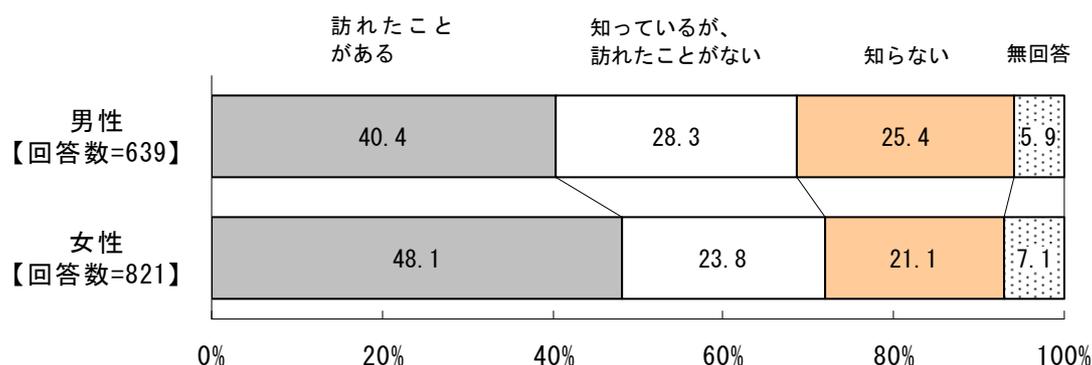
一方、『男性』で「知らない」が 58.7%となっており、『女性』に比べ 3.9 ポイント高くなっている。(図 3-16)

図 3-17 年代別 市民美術センターの認知度・利用状況



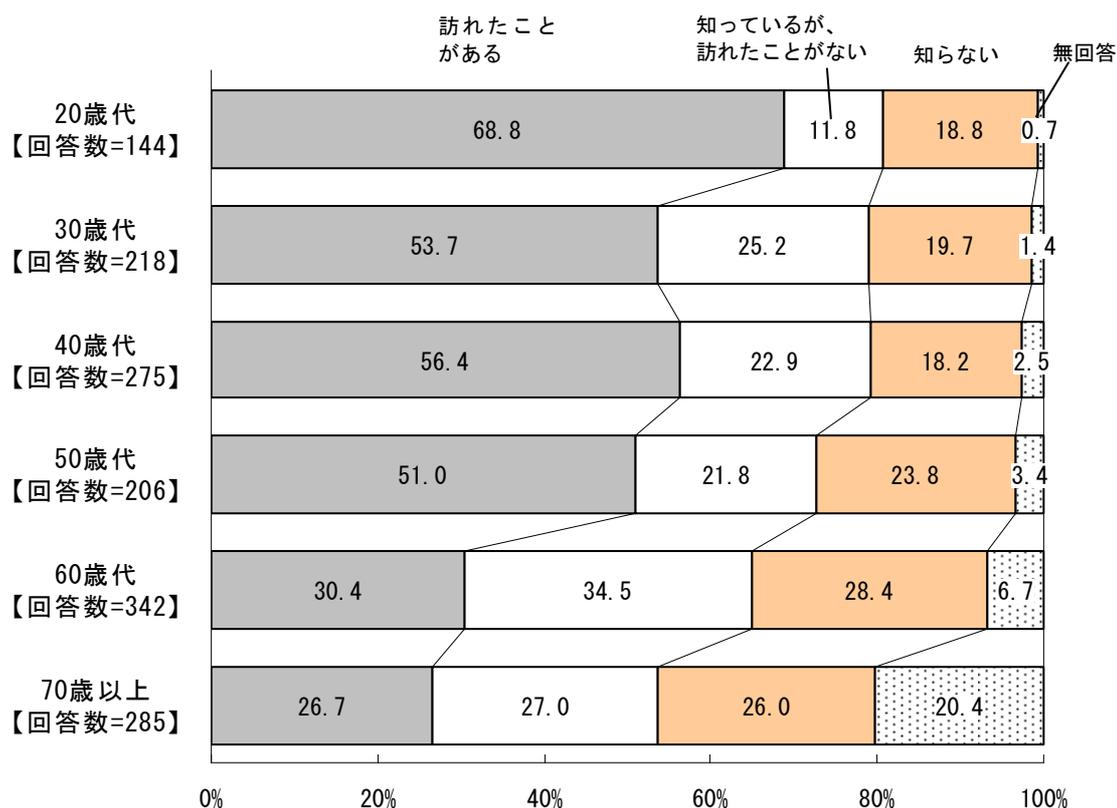
年代別にみると、『70歳以上』で「訪れたことがある」が 22.1%と最も高くなっており、年代が下がるにつれ低くなっている。一方、『30歳代』以上は年代が上がるにつれ「知らない」が低くなっている。(図 3-17)

図 3-18 性別 児童文化スポーツセンター（ドリーム 21）の認知度・利用状況



性別にみると、『女性』で「訪れたことがある」が48.1%となっており、『男性』に比べ7.7ポイント高くなっている。(図 3-18)

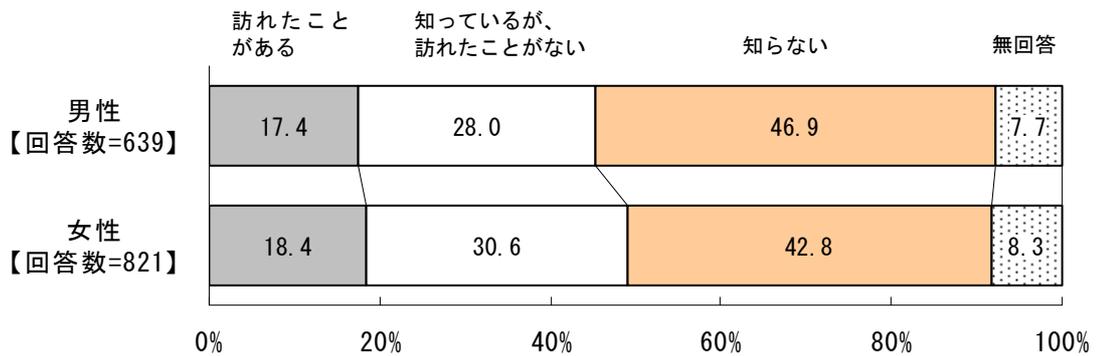
図 3-19 年代別 児童文化スポーツセンター（ドリーム 21）の認知度・利用状況



年代別にみると、『20歳代』で「訪れたことがある」が68.8%と最も高くなっており、『40歳代』以上は年代が上がるにつれ低くなっている。

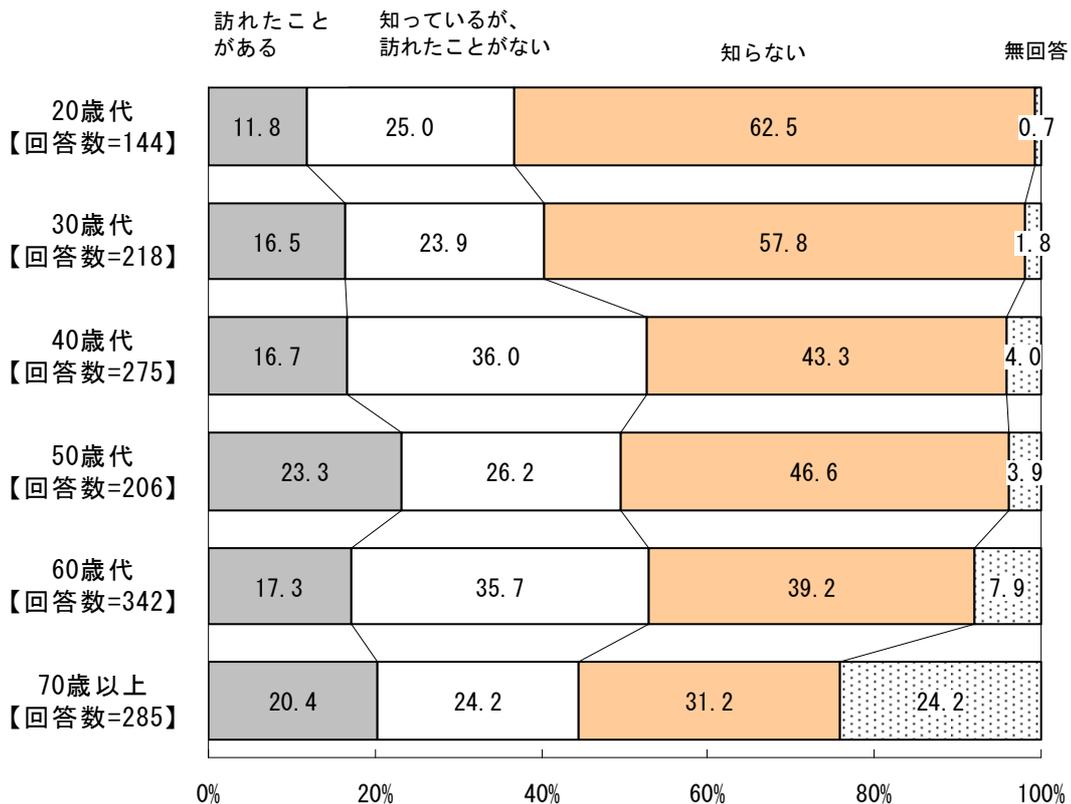
また、『20歳代』から『50歳代』で「知らない」が約2割前後となっている一方、『60歳代』『70歳以上』で3割弱となっている。(図 3-19)

図 3-20 性別 郷土博物館の認知度・利用状況



性別にみると、男女とも全体とほぼ同じ割合となっているが、『女性』の方が「訪れたことがある」「知っているが、訪れたことがない」がやや高くなっている。(図 3-20)

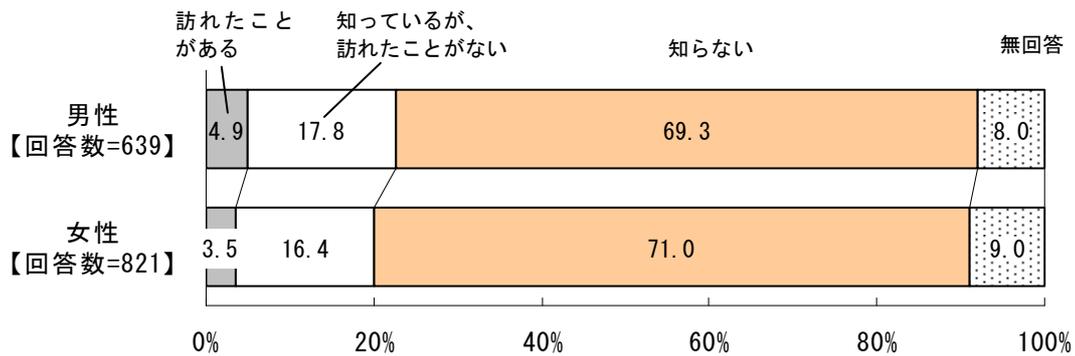
図 3-21 年代別 郷土博物館の認知度・利用状況



年代別にみると、『50歳代』『70歳以上』で「訪れたことがある」が2割を超えている。

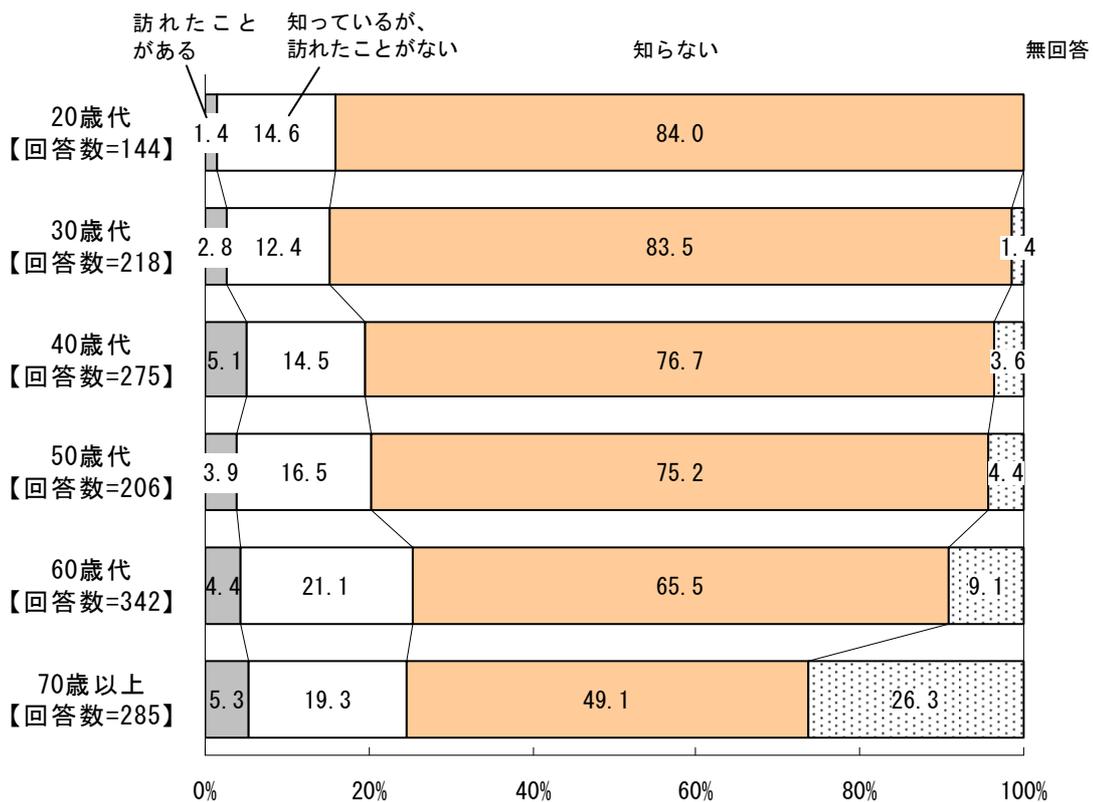
一方、年代が上がるにつれ「知らない」が概して低くなる傾向にある。(図 3-21)

図 3-22 性別 埋蔵文化財センターの認知度・利用状況



性別にみると、男女とも全体とほぼ同じ割合となっているが、『男性』の方が「訪れたことがある」「知っているが、訪れたことがない」がやや高くなっている。(図 3-22)

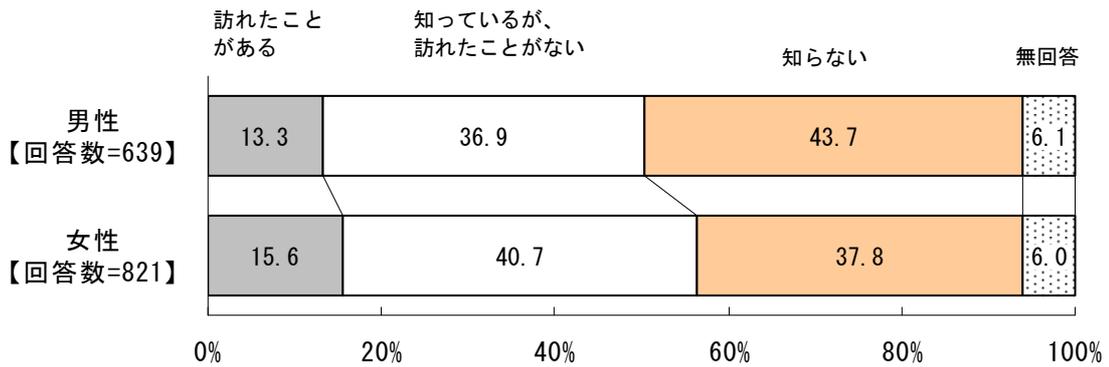
図 3-23 年代別 埋蔵文化財センターの認知度・利用状況



年代別にみると、『70歳以上』『40歳代』で「訪れたことがある」が5%を超えている。また、『20歳代』から『40歳代』で「知っているが、訪れたことがない」が約1割強、『50歳代』から『70歳以上』で「知っているが、訪れたことがない」が1割半を超えている。

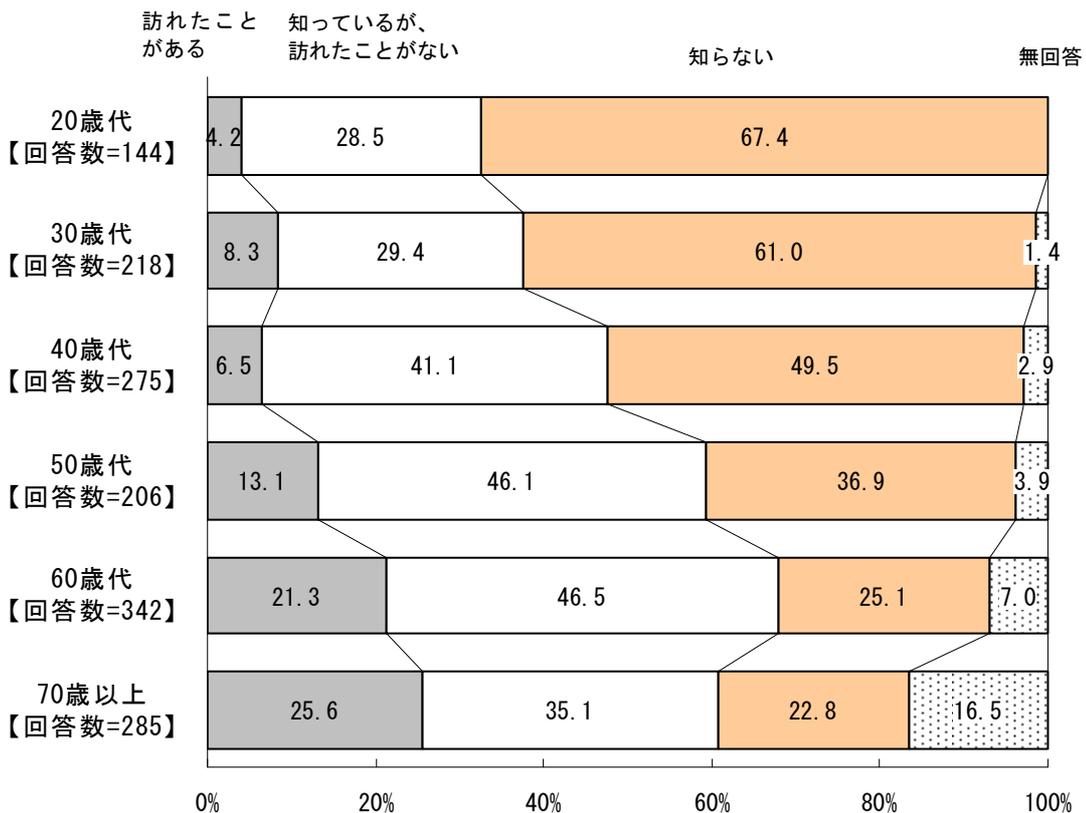
一方、年代が上がるにつれ「知らない」が低くなっている。(図 3-23)

図 3-24 性別 鴻池新田会所の認知度・利用状況



性別にみると、男女とも全体とほぼ同じ割合となっているが、『女性』は「知らない」が『男性』に比べ5.9ポイント低くなっている。(図 3-24)

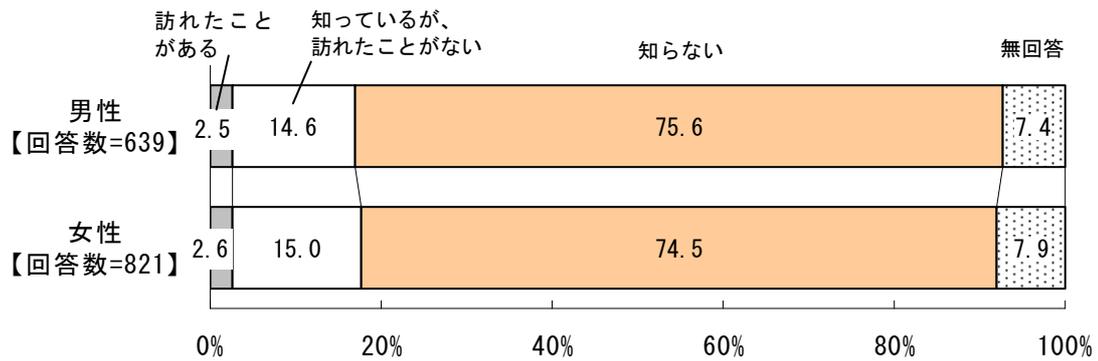
図 3-25 年代別 鴻池新田会所の認知度・利用状況



年代別にみると、『70歳以上』で「訪れたことがある」が25.6%と最も高くなっており、年代が下がるにつれ概して低くなる傾向にある。

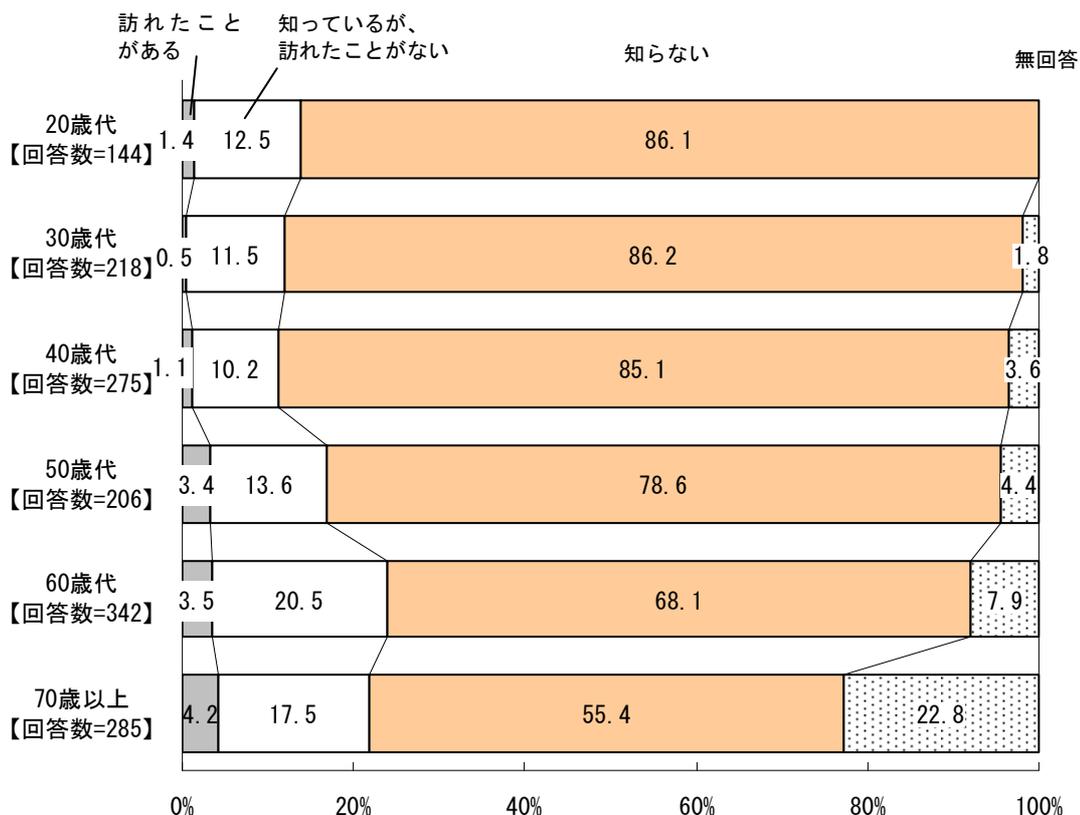
一方、年代が上がるにつれ「知らない」が低くなっている。(図 3-25)

図 3-26 性別 旧河澄家の認知度・利用状況



性別にみると、男女とも全体とほぼ同じ割合となっているが、『女性』の方が「訪れたことがある」「知っているが、訪れたことがない」がいずれもわずかに高くなっている。(図 3-26)

図 3-27 年代別 旧河澄家の認知度・利用状況

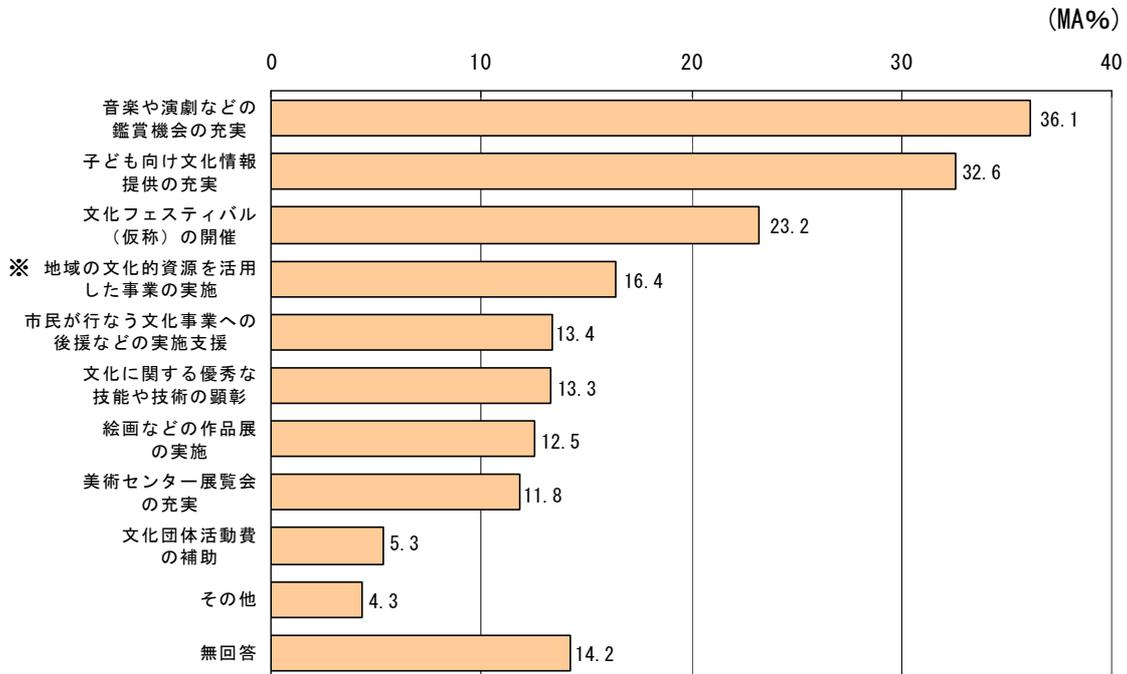


年代別にみると、『70歳以上』で「訪れたことがある」が4.2%と最も高くなっている。また、『20歳代』から『50歳代』で「知っているが、訪れたことがない」が約1割強、『60歳代』『70歳以上』で約2割となっている。

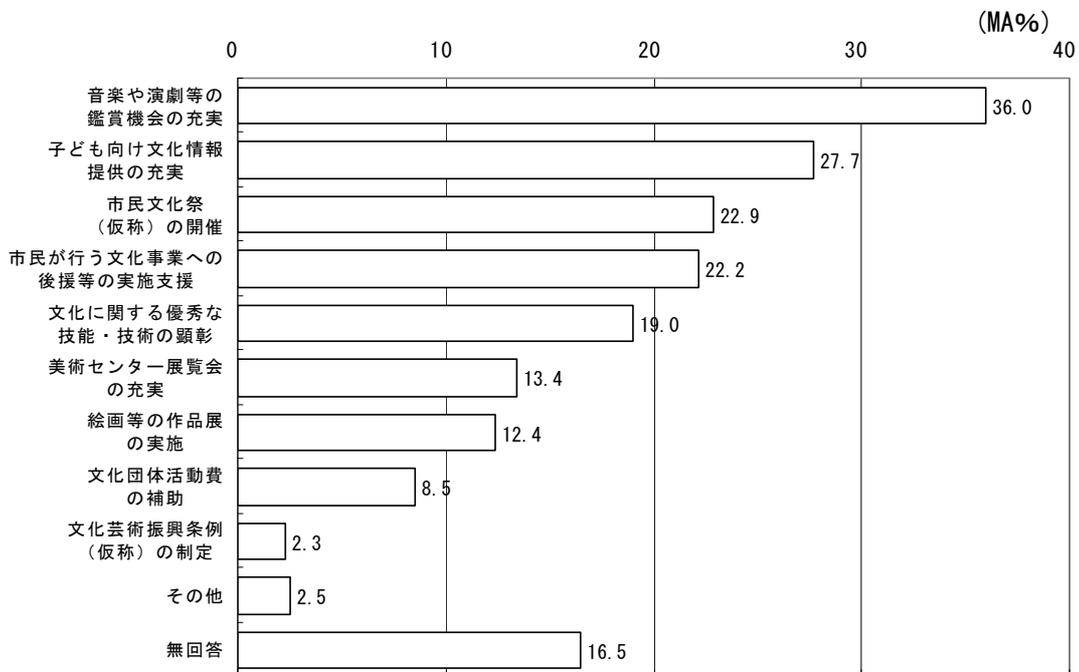
一方、年代が上がるにつれ「知らない」が低くなる傾向にある。(図 3-27)

問 17. あなたが、市の文化振興のために望んでいる市の取組みは何ですか？
 (〇は3つまで)

図 3-28 文化振興のために望む市の取組み(複数回答)



【平成 24 年度調査 回答数=1,481】



【平成 20 年度調査 回答数=1,444】

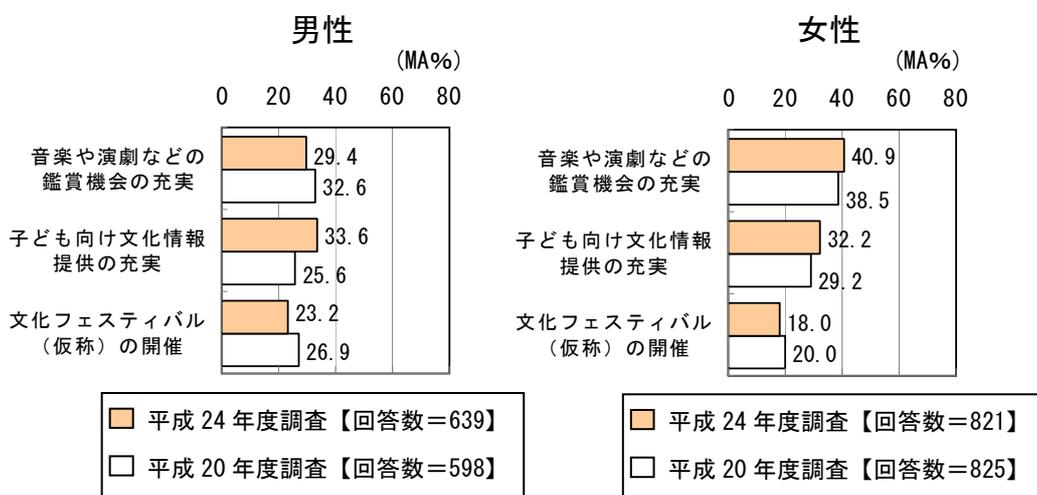
※「地域の文化的資源を活用した事業の実施」は平成 23 年度より開始した事業

文化振興のために望む市の取組みをたずねた。「音楽や演劇などの鑑賞機会の充実」が36.1%と最も高く、次いで「子ども向け文化情報の提供の充実」(32.6%)、「文化フェスティバル(仮称)の開催」(23.2%)、「地域の文化的資源を活用した事業の実施」(16.4%)などの順となっている。

選択項目がいくつか異なるものも含まれているが、平成20年度調査と比較すると、上位3項目は同じもので占められている上、順位も同じとなっている。

ただし、「子ども向け文化情報提供の充実」については、平成20年度調査に比べ4.9ポイント増加している。(図3-28)

図3-29 性別 文化振興のために望む市の取組み【上位3項目】(複数回答)

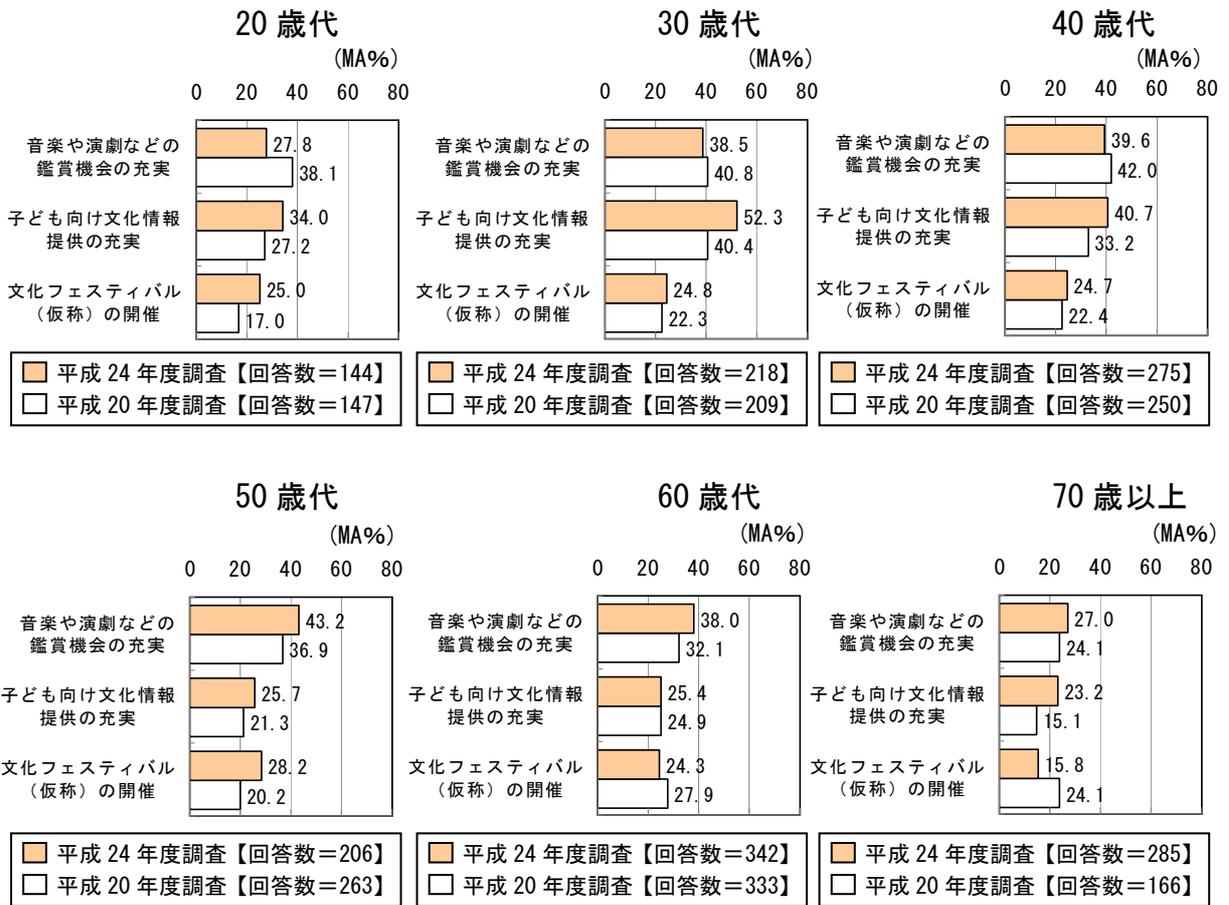


※「文化フェスティバル(仮称)の開催」は、平成20年で「市民文化祭(仮称)の開催」と表現

性別に上位3項目をみると、『女性』で全体と同様の傾向となっているが、『男性』で「子ども向け文化情報提供の充実」が33.6%と最も高くなっている。

平成20年度調査と比較すると、『男性』で「音楽や演劇などの鑑賞機会の充実」が29.4%、「文化フェスティバル(仮称)の開催」が23.2%、及び『女性』で「文化フェスティバル(仮称)の開催」が18.0%は、本年度調査の方が低くなっている。(図3-29)

図 3-30 年代別 文化振興のために望む市の取り組み【上位3項目】（複数回答）



※「文化フェスティバル（仮称）の開催」は、平成 20 年で「市民文化祭（仮称）の開催」と表現

年代別に上位 3 項目をみると、『50 歳代』から『70 歳以上』を除き、「子ども向け文化情報提供の充実」が最も高くなっており、なかでも『30 歳代』で 52.3%と他の年代に比べ高くなっている。

平成 20 年度調査と比較すると、すべての年代で「子ども向け文化情報提供の充実」が増加している。一方、『20 歳代』から『40 歳代』で「音楽や演劇などの鑑賞機会の充実」が減少しているのに対して、『50 歳代』から『70 歳以上』で増加している。（図 3-30）